

エコアクション21 環境経営活動レポート

2024年度

活動期間：2024年4月1日～2025年3月31日

株式会社 光製作所

作成日：2025年5月7日

目次

1. 組織の概要	ページ3
2. 環境経営方針	ページ4
3. 実施体制	ページ5
4. 環境経営目標	ページ6
5. 環境経営活動計画	ページ7
6. 環境経営目標と実績	ページ8
7. 環境経営活動の取組結果の評価及び 次年度の環境経営目標並びに環境経営計画	ページ9, 10
8. 環境経営活動計画の実施状況とその評価	ページ11～15
9. 環境関連法規の違反・訴訟等の有無	ページ16
10. 代表者による全体の評価と見直しの結果	ページ17

◇ 1. 組織の概要

(1) 事業所及び代表者名

株式会社 光製作所

代表取締役社長 井上 芙美子

(2) 所在地

〒800-0213 福岡県北九州市小倉南区中曾根東3丁目2番5号

(3) 事業内容

- 金属部品の加工
- 福祉部品の加工
- 給湯部品の加工・組立・検査
- 樹脂成型品の加工
- 金型治具の加工
- 治工具の設計・製作

創立年月日

- 1964年4月

資本金

- 1000万円

(4) 事業規模

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	497	490	499
従業員	人	37	35	34
床面積	m ²	1,592	1,592	1,592
敷地面積	m ²	3,099	3,099	3,099

* 床面積 … 工場、事務所、工務室

(5) 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者 工場長 高城 英彰
- 担当者 組立・検査課課長 田代 茂樹
- 連絡先 電話 093-471-0057(0238)
FAX 093-471-2352

(6) 事業年度

- 4/1～翌年3/31

(7) 認証・登録の範囲

- 全組織・全事業活動

環境経営方針

【基本理念】

株式会社光製作所は、地球環境の保全が最重要課題の一つである事を認識し、金属加工の事業活動を通じ環境にやさしい生産活動を推進します。

【行動指針】

金属の切削加工、その他、全ての事業活動において生じる環境への負荷を低減するために、環境経営システムを確立し環境活動の継続的改善を行います。

- ・全ての部門で次の取り組みを行います。

1. 二酸化炭素排出量の削減
2. 廃棄物排出量の削減
3. 水使用量の削減
4. 化学物質使用量の削減

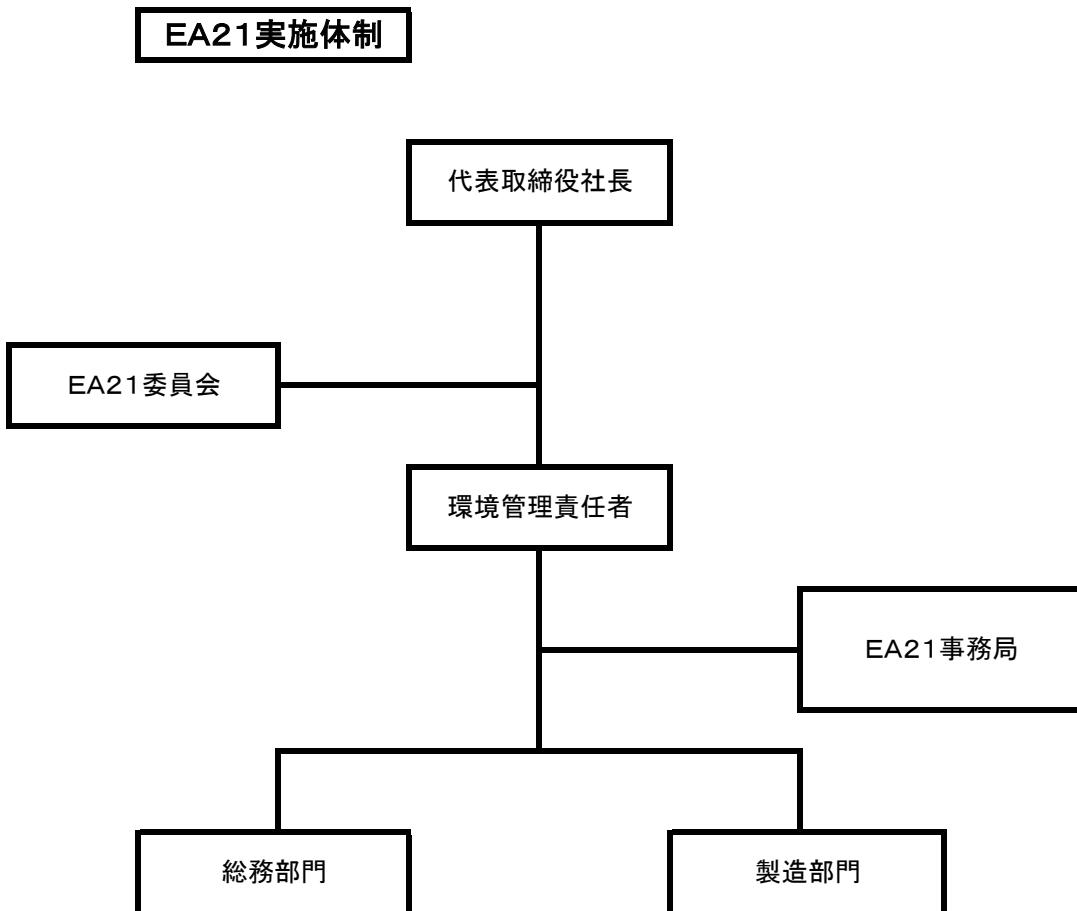
- ・不良の低減、端材の工夫活用による材料削減で、使用材料の効率化を図ります。
- ・工程の見直し、集約によって、作業の効率化を図ります。
- ・事業活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
- ・環境経営方針は広く一般に公表します。

2016年9月16日 制定
2019年4月18日 改定

株式会社 光製作所
代表取締役社長

井上 芙美子

3. 実施体制



役割分担表

所属(役職)	役割・責任・権限・使命
代表者 代表取締役社長	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
環境管理責任者 (工場長)	全体の把握／環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
EA21委員会	環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する。 1ヶ月に1回開催する。
EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
総務部門	電力、水消費量の管理
製造部門	廃棄物の廃棄量管理、リサイクル率管理
総務部門	車燃料(ガソリン、軽油)灯油消費量管理

4.2024年度 環境経営目標

環境目標		単位	2023年度	2024年度	2025年度
	(基準年度)		目標(0.5%減)	目標(1.0%減)	
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	174,360		
	二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	355.84	354.06	352.28
1-1	電力使用量	kwh/百万円	807.78	803.74	799.70
	1-2 灯油使用量	ℓ/百万円	3.98	3.96	3.94
	1-3 ガソリン使用量	ℓ/百万円	1.80	1.79	1.78
	1-4 軽油使用量	ℓ/百万円	3.21	3.19	3.28
2	廃油	ℓ/百万円	5.88	5.85	5.82
	廃棄物総排出量	kg/百万円	5.90	5.87	5.84
	切削油(潤滑油)	ℓ/百万円	3.37	3.35	3.34
3	総排出水量(水使用量)	m³/人	0.99	(現状維持) 0.99	(現状維持) 0.99
4	生産性の向上	棒材使用量の減少	-	目標策定の為 (データ取り中)	-
		工程の見直し	-	1件以上	1件以上
5	会社周辺の清掃	1回/月	12回/年	12回/年	12回/年
	売上(百万円)	490百万円			

※2022年度の九州電力二酸化炭素実排出係数:0.407kg-CO2/kWh 適用(2023年4月～2023年7月分計算)

※2022年度の日本テクノ二酸化炭素実排出係数:0.416kg-CO2/kWh 適用(2023年8月～2024年3月分計算)

※2023年度8月より電力会社を変更した為、2つの二酸化炭素実排出係数を使用

化学物質は使用していないので環境目標には取り上げない。

5. 2024年度 環境経営活動計画

項目	目標	活動計画	活動項目	責任者				
					4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
1 二酸化炭素排出量の削減 0.5%削減	電気使用量の削減	1	エアコンの設定温度管理	EA21事務局		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
		2	エアコンフィルターの定期清掃	EA21事務局		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
		3	昼休みの消灯	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		4	機械のファンの定期清掃	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		5	エアー漏れの定期点検	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		6	不要な照明の消灯(トイレ等)	EA21事務局	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	灯油使用量の削減	1	暖房温度の適正管理	各課長				<input type="checkbox"/>
		2	昼休みは消すこと	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ガソリン使用量の削減	1	アイドリングストップの励行	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	急発進、急ブレーキの禁止	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 廃棄物排出量の削減 0.5%削減	軽油使用量の削減	1	車両の保守点検	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	急発進、急ブレーキの禁止	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	廃油排出量の削減	1	油漏れの定期点検	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	クーラントの定期清掃	各課長		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	一般廃棄物の削減	1	裏紙使用の徹底	生産管理課	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	下敷(紙)の再利用	EA21事務局	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	切削油(潤滑油)の削減	1	油漏れの定期点検	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	クーラントの定期清掃	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3	クーラントの濃度管理	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		4	潤滑油の適正使用(管理)	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		5	SDSにより管理	EA21事務局	<input type="checkbox"/>			
3 総排出水量の削減	現状維持	水使用量の削減	1	音姫使用の徹底	EA21事務局	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			2	漏水の定期点検	EA21事務局	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 製品・サービス	推進	生産性の向上	1	棒材(使用量)直行率のデータ取り・改善	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			2	歩留まりの向上	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			3	作業改善	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 その他	推進	会社周辺の清掃	1	1回/月の清掃	EA21事務局	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		環境リスクの洗い出し	2	安全パトロール	各課長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※2022年度の日本テクノ二酸化炭素実排出係数:0.416kg-CO2/kwh 適用

6. 2024年度 環境経営目標と実績

環境目標		単位	2023年度	2024年度	2024年度	達成率	判定
			(基準年度)	目標(0.5%減)	実績		
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	174,360		172,932		
	二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	355.84	354.06	346.56	102.1%	○
1-1	電力使用量	kwh/百万円	807.78	803.74	775.12	103.6%	○
	灯油使用量	ℓ/百万円	3.98	3.96	4.81	78.5%	×
	ガソリン使用量	ℓ/百万円	1.80	1.79	1.75	102.2%	○
	軽油使用量	ℓ/百万円	3.21	3.19	3.13	101.9%	○
2	廃油	ℓ/百万円	5.88	5.85	2.10	164.0%	○
	廃棄物総排出量	kg/百万円	5.90	5.87	5.30	109.7%	○
	切削油(潤滑油)	ℓ/百万円	3.37	3.35	4.6	62.7%	×
3	総排出量(使用水量)	m³/人	0.99	(現状維持) 0.99	1.26	72.7%	×
4	棒材使用量	t/百万円	—	目標策定の為 (データ取り中)	—	—	—
	工程の見直し	—	1件以上	1件以上	1件	100.0%	○
5	会社周辺の清掃	1回/月	12回/年	12回/年		12回/年	○
	売上(百万円)	490百万円		499百万円			

※2022年度の九州電力二酸化炭素実排出係数:0.407kg-CO2/kWh 適用(2023年4月～2023年7月分計算)

※2022年度の日本テクノ二酸化炭素実排出係数:0.416kg-CO2/kWh 適用(2023年8月～2024年3月分計算)

※2023年度8月より電力会社を変更した為、2つの二酸化炭素実排出係数を使用

達成状況 : ○ 達成 × 未達成

－ 該当しない

※生産活動によって二酸化炭素の排出量は変わってくるので

原単位は分子に二酸化炭素排出量、分母に売上を適用しています。

(生産活動に比例して売上も伸びる為、分母に売上を適用)

※水使用量は人によって変わってくるので

原単位は分子に使用量、分母に人数を適用しています。

7. 環境経営活動の取組結果の評価及び次年度の環境経営目標並びに環境経営計画

【二酸化炭素排出量について】

今年度の二酸化炭素総排出量は、基準年度比で約0.8%減少出来た。
指数でも102.1%と達成出来た。

新規設備を1台導入し二酸化炭素排出量の削減に繋がった。

エアコンの適正温度、こまめな消灯の徹底で節電に努めている。

設備のオイル漏れ、エア漏れチェックの徹底を行った。

灯油の使用量は基準年度比で78.5%と達成出来なかつたが
今年度の冬が平年より寒かったためストーブの使用が増え、灯油量も増えた。

ガソリン使用量は102.2%と達成出来た。
引き続き急ブレーキ・急発進等無いようガソリン減少に努めたい。

工程の見直し(1件)によりコストダウンと品質の安定に繋がった。

【廃棄物排出量について】

基準年度に対して109.7%と達成出来た。
油漏れに使用するウエスを増やさないよう、油漏れに早く対処するよう務めた。
裏紙使用、ペーパーレス化出来るものはペーパーレス化に努めた。

【廃油の削減について】

廃油は基準年度に対して164.0%と達成出来た。
今年度は設備の切削油の交換が減少した為、廃油の削減に繋がった。

油漏れ設備台数は月2.4台から月0.75台へと減少した。

【切削油の削減について】

基準年度に対して62.7%と達成出来なかつた。
今年度の切削油使用量は2296ℓだったが、基準年度前3年間の平均使用量は2348ℓとほぼ同じだつた。
基準年度切削油使用量は1652ℓと少なかつた。(基準年度前に駆け込みで増えた為、基準年度は少なつた)
それを踏まえて来年度の基準年度を変更する。

【水使用量について】

基準年度に対して72.7%と達成出来なかつた。
熱中症対策に屋根上にスプリンクラーを設置した為、水使用量が大幅に増えた。
それを踏まえて来年度の基準年度を変更する。

7. 環境経営活動の取組結果の評価及び次年度の環境経営目標並びに環境経営計画

【次年度の環境経営目標及び環境経営計画について】

(目標)

環境経営活動計画の継続を行う。

油漏れ、無駄な切削量を増やさないよう、設備チェックの順守。

エアコンの適正温度、こまめな消灯の徹底で節電に努める。

(計画)

切削油使用量の基準年度を2023年度から2024年度に変更する。

水使用量の基準年度を2023年度から2024年度に変更する。

【 2025年度 環境経営目標 】

環境目標		単位	2023年度	2025年度	2026年度
			(基準年度)	目標(1.0%減)	目標(1.5%減)
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	174,360		
	二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	355.84	352.28	350.50
1-1	電力使用量	kwh/百万円	807.78	799.70	795.66
	1-2 灯油使用量	ℓ/百万円	3.98	3.94	3.92
	1-3 ガソリン使用量	ℓ/百万円	1.80	1.78	1.77
	1-4 軽油使用量	ℓ/百万円	3.21	3.18	3.16
2	廃油	ℓ/百万円	5.88	5.82	5.79
	廃棄物総排出量	kg/百万円	5.90	5.84	5.81
	切削油(潤滑油)	ℓ/百万円	(2024年度) 4.60	4.58	4.55
3	総排出水量(水使用量)	m³/人	(2024年度) 1.26	(現状維持) 1.26	(現状維持) 1.26
4	生産性の向上	棒材使用量の減少	-	目標策定の為 (データ取り中)	-
		工程の見直し	-	1件以上	1件以上
5	会社周辺の清掃	1回/月	12回/年	12回/年	12回/年
		売上(百万円)	490百万円		

※2022年度の九州電力二酸化炭素実排出係数:0.407kg-CO2/kWh 適用(2023年4月～2023年7月分計算)

※2022年度の日本テクノ二酸化炭素実排出係数:0.416kg-CO2/kWh 適用(2023年8月～2024年3月分計算)

※2023年度8月より電力会社を変更した為、2つの二酸化炭素実排出係数を使用

※切削油(潤滑油)と総排出量(水使用量)の基準年度を2024年度に変更

化学物質は使用していないので環境目標には取り上げない。

8. 2024年度 環境経営活動計画の実施状況とその評価

項目	目標	活動計画	活動項目	責任者						
					4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	二酸化炭素排出量の削減 0.5%削減	電気使用量の削減	1 エアコンの設定温度管理	EA21事務局	—	—	○	○	○	○
			2 エアコンフィルターの定期清掃	EA21事務局	—	—	○	—	—	—
			3 昼休みの消灯	各課長	○	○	○	○	○	○
			4 機械のファンの定期清掃	各課長	○	○	○	○	○	○
			5 エアー漏れの定期点検	各課長	○	○	○	○	○	○
			6 不要な照明の消灯(トイレ等)	EA21事務局	○	○	○	○	○	○
		灯油使用量の削減	1 暖房温度の適正管理	各課長	—	—	—	—	—	—
			2 昼休みは消すこと	各課長	—	—	—	—	—	—
		ガソリン使用量の削減	1 アイドリングストップの励行	各課長	○	○	○	○	○	○
			2 急発進、急ブレーキの禁止	各課長	○	○	○	○	○	○
2	廃棄物排出量の削減 0.5%削減	軽油使用量の削減	1 車両の保守点検	各課長	○	○	○	○	○	○
			2 急発進、急ブレーキの禁止	各課長	○	○	○	○	○	○
		廃油排出量の削減	1 油漏れの定期点検	各課長	○	○	○	○	○	○
			2 クーラントの定期清掃	各課長	○	○	○	○	○	○
		一般廃棄物の削減	1 裏紙使用の徹底	生産管理課	○	○	○	○	○	○
			2 下敷(紙)の再利用	EA21事務局	△	△	△	△	△	△
		切削油(潤滑油)の削減	1 油漏れの定期点検	各課長	○	○	○	○	○	○
			2 クーラントの定期清掃	各課長	○	○	○	○	○	○
			3 クーラントの濃度管理	各課長	○	○	○	○	○	○
			4 潤滑油の適正使用(管理)	各課長	○	○	○	○	○	○
			5 SDSにより管理	EA21事務局	○	○	○	○	○	○
3	総排水量の削減	現状維持	水使用量の削減	1 音姫使用の徹底	EA21事務局	○	○	○	○	○
				2 漏水の定期点検	EA22事務局	○	○	○	○	○
4	製品・サービス	推進	生産性の向上	1 棒材(使用量)直行率のデータ取り・改善	各課長	—	—	○	○	○
				2 歩留まりの向上	各課長	—	○	○	○	○
				3 作業改善	各課長	—	—	—	—	—
5	その他	推進	会社周辺の清掃	1 1回/月の清掃	EA21事務局	○	○	○	○	○
			環境リスクの洗い出し	2 安全パトロール	各課長	○	○	○	○	○

実施状況 ○ : 実施されている △ : 実施されている × : 実施されていない — : 該当しない

□ : 実施予定

8. 2024年度 環境経営活動計画の実施状況とその評価

項目	目標	活動計画	活動項目	責任者						
					10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	二酸化炭素排出量の削減 0.5%削減	電気使用量の削減	1 エアコンの設定温度管理	EA21事務局	○	○	○	○	○	○
			2 エアコンフィルターの定期清掃	EA21事務局	—	○	—	—	—	—
			3 昼休みの消灯	各課長	○	○	○	○	○	○
			4 機械のファンの定期清掃	各課長	○	○	○	○	○	○
			5 エアー漏れの定期点検	各課長	○	○	○	○	○	○
			6 不要な照明の消灯(トイレ等)	EA21事務局	○	○	○	○	○	○
		灯油使用量の削減	1 暖房温度の適正管理	各課長	—	○	○	○	○	○
			2 昼休みは消すこと	各課長	—	○	○	○	○	○
		ガソリン使用量の削減	1 アイドリングストップの励行	松下	○	○	○	○	○	○
			2 急発進、急ブレーキの禁止	松下	○	○	○	○	○	○
2	廃棄物排出量の削減 0.5%削減	軽油使用量の削減	1 車両の保守点検	松下	○	○	○	○	○	○
			2 急発進、急ブレーキの禁止	松下	○	○	○	○	○	○
		廃油排出量の削減	1 油漏れの定期点検	各課長	○	○	○	○	○	○
			2 クーラントの定期清掃	各課長	○	○	○	○	○	○
		一般廃棄物の削減	1 裏紙使用の徹底	生産管理G	○	○	○	○	○	○
			2 下敷(紙)の再利用	EA21事務局	△	△	△	△	△	△
		切削油(潤滑油)の削減	1 油漏れの定期点検	各課長	○	○	○	○	○	○
			2 クーラントの定期清掃	各課長	○	○	○	○	○	○
			3 クーラントの濃度管理	各課長	○	○	○	○	○	○
			4 潤滑油の適正使用(管理)	各課長	○	○	○	○	○	○
			5 SDSにより管理	EA21事務局	○	○	○	○	○	○
3	総排水量の削減	現状維持	水使用量の削減	1 音姫使用の徹底	EA21事務局	○	○	○	○	○
				2 漏水の定期点検	EA22事務局	○	○	○	○	○
4	製品・サービス	推進	生産性の向上	1 棒材(使用量)直行率のデータ取り・改善	各課長	○	○	○	○	○
				2 歩留まりの向上	各課長	○	○	○	○	○
				3 作業改善	各課長	—	—	—	—	○
5	その他	推進	会社周辺の清掃	1 1回/月の清掃	EA21事務局	○	○	○	○	○
			環境リスクの洗い出し	2 安全パトロール	各課長	○	○	○	○	○

実施状況 ○ : 実施されている △ : 実施されている × : 実施されていない — : 該当しない

□ : 実施予定

8. 2024年度 環境経営活動状況

工場周辺の清掃活動



8.2024年度 環境経営活動状況

製造課 CD改善報告

品番：

X

実施 2025.3.22

改善内容 最新機種へ変更による生産性向上

加工秒数からみる向上点

改善前		改善後	
サイクルタイム	120S	サイクルタイム	62S
1時間生産数	30個	1時間生産数	58個

生産性2倍を実現

稼働日数からみる向上点

平均月使用量 1710個(2024年度下期)

改善前		改善後	
2.4日		1.2日	

品質からみる向上点

スリ割部バリ取り作業

改善前		改善後	
1個当たり2S		バリ取り作業無し	機械にて自動化

バリ取り作業無し

機械にて自動化

最新機種により機械の移動速度が向上し取り付け刃物数も増加
旧機種には不可能だった主軸、背面同時加工を実現できた

品質

外観 向上

寸法 問題なし

8. 2024年度 環境経営活動実施状況【設備関係】

設備保全の実施結果

設備の省エネ化 1台導入

2025年2月

精密生産型CNC自動旋盤 【設備導入】



9. 環境関連法規の違反・訴訟等の有無

環境関連法の遵守状況をチェックした結果違反はありませんでした。

尚、関係機関及び工場近隣からの違反の指摘、訴訟等も過去3年間ありません。

環境関連法規の順守状況

適用される法規等	適用対象	適用条項の内容、規制基準	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般 産業廃棄物	処理の委託先選択基準、処理の委託基準等 保管基準、管理表の交付、委託契約基準等	○ ○
騒音規制法	コンプレッサー	特定施設の事前届け出と変更届	○
消防法	特定指定可燃物	設備基準と点検等	○
グリーン購入法	平成12年5月交付	紙類、文具等	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	法第5条、法第16条等	○

10. 代表者による全体評価と見直し、指示の結果

【評価と見直し】

社員一人ひとりが自分ごととして取り組んでくれたことで
今年も活動を継続する事ができました。

達成率の低かった、水の使用量の増加について、夏場の工場屋根への散水によるもので原因は明確です
基準の見直しを検討してください。

エコアクション21は「やって終わり」ではなく、これからも少しずつでも前へ進んで行くことが大切です。
引き続き社員みんなで力を合わせ、ちょっとした改善の積み重ねを継続的に続けてほしいと思います。

提出した情報(資料等)	(1)環境方針 (2)2024年度 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果 (3)環境関連法規制等の遵守状況のチェック結果 (4)外部からの苦情等の受付結果 (5)前年度の代表者による全体評価と見直し、指示の結果
-------------	--

見直し	環境経営方針 変更の必要性	無し
	環境経営目標 変更の必要性	有(基準年度を変更)
	環境活動計画 変更の必要性	無し
	実施体制 変更の必要性	無し